

市町村名：松山市

協議会名：まつやま道しるべマップ標識検討協議会

<p>対象地域の設定</p>	<p>案内標識を整備すべき拠点や経路、地区を設定。 ○整備拠点：松山空港、松山観光港、JR松山駅、松山市駅、松山IC、道の駅(風和里)、松山市一番町駐車場、松山市道後温泉駐車場 ○移動経路：松山歴史文化道、ガソリンスタンド(以上、自動車動線)、四国のみち(へんろ道)、公共交通機関(以上、歩行者動線) ○整備地区：中心部、道後、三津浜・梅津寺、久谷・砥部地区(松山市『坂の上の雲』まちづくりフィールドミュージアム構想のセンター及びサブセンターゾーン)</p>
<p>基本方針の策定</p>	<p>○メリハリのある案内：整備拠点・経路・地区の設定、ガイドラインの遵守と松山市基本指針の設定 ○松山市のアイデンティティの表現：松山市の個性を表現、市の特性を考慮したデザイン(字体)、景観形成を考慮したデザイン(色彩)、『坂の上の雲』関連施設の情報提供 ○すべての人に分かりやすい案内サイン常識の整備：ユニバーサルデザインを取り入れたサインシステムづくり、市民へのメッセージのサイン化 ○メディア相互の補完：案内情報の共有、PDCAサイクルの構築</p>
<p>情報掲載基準の作成</p>	<p>アンケート等の結果から、①多くの利用者がある交通施設、②利用者の多い公共施設、③利用の多い観光施設(歴史・文化施設)、④本市を代表する商業地、⑤観光案内所、⑥トイレを誘導目的地として設定。 観光施設の抽出に際しては、パンフレットやガイドマップ、旅行雑誌等に掲載されているものをリストに整理し、優先順位を設定した。</p>
<p>他メディアの整備方針の検討</p>	<p>QRコードによるWebサイトへのリンクや施設解説の整備。マップコードによる位置情報の提供。</p>
<p>次年度以降の推進体制</p>	<p>次年度以降、各管理者による整備を行っていく。また、マネジメント組織の検討を行っていく。</p>
<p>ガイドラインの改善すべき点</p>	<p>一貫した案内のための道路標識の弾力的運用 レンタサイクルピクトサインの新設・普及</p>

三津の渡し

『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想

松山城

坊っちゃん列車

道後温泉

仮称『坂の上の雲』記念館

杖の淵公園

久谷・砥部サブセンターゾーン

道後サブセンターゾーン

松山城周辺センターゾーン

松山総合公園サブセンターゾーン

三津浜・梅津寺サブセンターゾーン

松山駅

松山IC

松山空港

松山観光港

道の駅(風和里)

松山市一番町駐車場

松山市道後温泉駐車場

松山歴史文化道

ガソリンスタンド

公共交通機関

四国のみち(へんろ道)

中心部

道後

三津浜・梅津寺

久谷・砥部地区

松山市『坂の上の雲』まちづくりフィールドミュージアム構想のセンター及びサブセンターゾーン

＜R 例＞

- センターゾーン(サブセンターゾーン)
- サブサイト(主要案内施設)
- 88箇所
- 施設情報

総合情報案内板 (A型案内板)

地区情報案内板 (B型案内板)

誘導案内板 (C型案内板)

解説板